



## 宇都宮商店街めぐり 第17回

### JR宇都宮駅前商店街

# 「新しい県都の顔を、 ぜひ実現させたいですね」

「宇都宮市の玄関、JR宇都宮駅西口の商店街「JR宇都宮駅前商店街」では、現在、再開発事業の実現に向けてがんばっています。」

JR宇都宮駅前商店街のスタートは、昭和42（1967）年のこと。ちょうど駅前再開発の機運が高まってきており、その受け皿の役割も兼ねて設立されました。

「当時は振興組合でスタートしましたが、平成17年に私が会長になった時に、会員総意で一度解散しようということになり、平成18年に現在の任意団体になりました」

JR宇都宮西口の再開発は、ロビンソン百貨店（現フラスクエア）やリッチモンドホテル、オウエスト宇都宮（マンション）など、地区を細かく分けて行われて来ました。が、当商店街の区域は地権者の合意などさまざまな障害もあって、なかなか進まないのが実情です。「商店街としても何とかしたい」と思っているんですよ。よう

やく、3年前から宇都宮市などの支援もいただいて、改めて勉強会を開催しています。毎月1回、コンサルタントや行政の方に話をうかがいながら、積み重ねてきました」

JR宇都宮駅前と、立地的には最高なので、空き店舗が生じてもすぐに埋まっています。昔からの商店も多いので、互いの意思疎通は充分にできているようです。

「現在は、ようやく勉強から次のステップへ動こうとしているところです。できるだけ早く、再開発にこぎつけたいと、私は考えています」

市制100周年の際には、西口ペDESTリアンデッキでフリーマーケットやイベントを行い、大好評。商店街のポテンシャルを発揮しました。

「またやりたいのですが、場所がねえ」と苦笑する市村会長。駅前には交通の要でもあり、大がかりなイベントをやりたくても、警察の許可が下りにくいのこと。

「宮まつりも、ずっと協力させていただいています。昨年からはお囃子をフラスクエア前で行っています。ララス



JR宇都宮駅前商店街  
会長 市村 耕三さん

クエアも商店街の一員なので、今後はもっと連携を密にして、できればイベントなども企画したいと思っています」  
悩みは、やはり建物施設の老朽化。そのためにも、再開発を——と市村会長は期待しています。

「駅前の大通りをはさんだ南北のまちなみと、チサンホテルの向かい側の整備に向けて、みんなで知恵を出し合っているところです。ぜひ実現させて、新しい県都の顔を作りたいですね」

